

世帯と人口

4 月 1 日現在・()内対前月比

世 帯	46,438	(+193)
人 口	122,419人	(+244)
男	62,297人	(+112)
女	60,122人	(+132)

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の 1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

赤や緑などカラフルなボールで楽しく遊ぶ子どもたち（バンビの会で）



えびな模様

おもちゃで遊べる図書館

「わぁ!!、おもちゃがいっぱいだ!!」、と子どもたちのうれしそうな声が聞こえます。そこには、布製のドーナツ型クッションや絵本、ビールのボールがいっぱい入ったプールなどが、子どもたちを出迎えています。今回は5日の「こどもの日」に併せ、「おもちゃ図書館」を紹介します。

大人も童心に戻った気分

おもちゃ図書館は、障害のある子どもたちにおもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを知ってもらおうと23年前にスタートした全国的なボランティア活動です。市内では、「プチポケット」が平成10年からわかば会館で、また「バンビの会」が12年から河原口自治会館などで活動を続けています。現在は、障害のある子どもたちに限らず、誰でもが楽しく遊べる空間に変わってきています。

同図書館は、受付で名前、住所などを記入するだけで気軽に楽しめる場所として口コミで広まり、利用者が年々増えています。

「ここには、大き過ぎて家の中では保管することができないおもちゃや、いろいろな手づくりおもちゃがあるので、遊びに来るのが毎回楽しみ」。同年代の子どもたちと一緒におもちゃで遊ぶ我が子が、独りで遊んでいるときと違って明るく元気なことに感動、という母親も…。

どの子もすぐにお気に入りのおもちゃを見つけ、時間を忘れて夢中になっています。帰宅時間になっても遊び足りない子どもには、おもちゃを一つだけ布製の袋に入れて貸し出します。この袋は仕事の合間にボランティアが縫ったもの。子どもたちが走り回る会場の片隅で、袋を縫いながら時々手を休め、やさしいまなざしで親子の様子を見つめています。

「遊びに来る子どもたちを見ると、会う度に成長している。元気に育っている姿を見る度に、ボランティアを続けてきてよかったと思います」。

子どもにとって、おもちゃは乳幼児期の発育を促し、自立性や創造性を養う大切なもの。しかし、子ども同士だけではなく、会場の大人同士もすぐに親しくなっているところを見ると、おもちゃには年齢に関係なく人を童心に戻し、「コミュニケーション」を促す効果があるのかもしれない。

問

プチポケット・八巻さん（☎ 232・8605）
バンビの会・飯島さん（☎ 235・6553）